

2019年 春号

ゆいせいの心



介護職員募集中

資格を問いません（各種保険・退職金制度あり）

第47号

平成31年4月30日発行

《発行》 特別養護老人ホーム 悠清苑

施設長 蓮田 逸子

〒869-2402 熊本県阿蘇郡南小国町大字満願寺5854-1

TEL(0967)44-0800 FAX(0967)44-0675

平成31年度事業方針

<基本方針>

2025年団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、3人に1人が65歳以上で5人に1人が75歳以上になるという2025年問題で、介護人材が34万人不足と言われていています。小国郷では、超高齢化・超少子化が益々進み、生産年齢人口の減少の上、介護職離れで当法人もかなり深刻な福祉人材不足となっています。昨年12月に入管法が成立し、今年の4月から外国人労働者の受け入れが拡大され、介護現場でも外国人が働ける仕組みになり、今後人材不足対策として視野に入れて考えていかなければなりません。しかしながら、現状このまま人員配置基準が固守できたとしても、また退職者が出、人材の確保ができないのであれば一時的に事業の縮小の必要があると考えます。また、介護職員の負担軽減と介護業務の効率化として、介助入浴機器や介護記録等のペーパーレス化を考慮し介護記録等のICT化の導入準備を検討し、効率的な介護の提供体制を整備していきます。

<事業目標>

1. 社会福祉法人としての使命と地域・ご利用者に愛される施設
ご利用者の尊厳の理念を踏まえ、各事業のサービスの質の向上に邁進し社会の信頼と責任の下で社会福祉の担い手として役割を果たしていき、南小国町小国町の両町の高齢者の福祉拠点として、地域・ご利用者に信頼され愛される施設をめざし、これからも社会福祉法人としての公益性と使命を認識し、社会貢献に努めて参ります。
2. 人事制度の導入後の確立と効率的な介護業務の整備と職員育成
職員の労働意欲の喚起の為にキャリアパスを推進し、職員のキャリアアップを明確にする人事考課の構築を強化し、介護業務の効率化として座ったまま入浴できる介助入浴機器の導入や介護記録等のICTのシステム準備期間とし、人・時間・物等のロスがないように検討して参ります。また、認知症実践者・リーダー研修や喀痰吸引等研修等々を受講し、職員の質の向上とモチベーションを上げ、年次有給休暇の取得促進や資格取得に対する支援（介護職員実務者研修受講料貸付制度）を継続し、育児や介護の職員に対して柔軟な勤務時間の設定と離職することがない様に引き続き支援をしていきます。
3. 法令遵守・職員の行動指針の厳守
法令を遵守し、職員の行動指針を基本にご利用者方々に笑顔で接し、安全で安心したサービスが提供できる様に努め、ご利用者の個別の意思と人格を尊重し、プライバシー保護の配慮をし、ご利用者に対する言動に気を付け、温かい心と優しい手と観察する眼で実践する支援に努めて参ります。

<理念>

「ご利用者の尊厳の保持」 「自立・自律支援」 「温かく・優しく・笑顔で」

<基本方針>

一日を生き生きと、そして平穏に温かく優しく、いたわりの気持ちを大切に笑顔で接し、できることは自分で一歩でも家庭生活に近づけられるよう支援します。

<職員訓>

- 一. 公平 等しく平等に
- 一. 謙虚 すべての人を大切に
- 一. 信頼 常に頼られる人に
- 一. 反省 一日をこれで良かったか省みる
- 一. 向上 目標を目指して頑張ろう

私達職員は、ご利用者を温かく見守り、楽しい生活の場とし、活力のある職場とするため互いに研鑽努力する。

豆まき

今年も悠清苑にやってきた個性豊かな鬼が元気を運んでくれたようです。

特養



地域密着型ホーム



デイサービス



福寿苑



春爛漫

悠清苑の周りの桜も見ごろを迎えました。桜につられて笑顔も満開ですね。



地域交流会

3月8日、善正寺婦人会の皆様が来苑され、ご住職による法話の後、歌の披露をしてくださいました。

3月29日、小国郷ライオンズクラブの皆様が来苑され、藤本流の三味線の演奏と、唄や舞を披露してくださいました。



素晴らしい歌声や三味線の音色に、一緒に歌ったり手拍子をされたりしながら、皆様とても楽しんでおられました。

ひな祭り

お内裏様・お雛様と一緒に♪
笑顔がたくさん見られました。



福寿苑の皆様は、黒淵の真光寺へ。沢山のお雛様や飾り物を見てとても喜んでおられました。



『南小国町地域介護・福祉空間整備等事業』

災害時の避難経路であるユニット棟・西棟と福寿苑を繋ぐ3箇所の通路が整備され、3月25日に完成いたしました。



西棟から福寿苑へ向かう通路



福寿苑の非常口からユニット棟へ向かう通路



ユニット棟玄関から福寿苑へ向かう通路

総合防災訓練



3月28日、夜間帯での火災発生を想定した訓練を行いました。阿蘇広域消防本部北部分署より、宮川様、阿南様、若宮様の3名の消防隊員の立会いの下、夜間帯に厨房から出火するという想定で行われた訓練では、従来型の夜勤職員と宿直者が連携して消防への通報や初期消火、他部署への連絡を行いながら、御入居者の安全を確保するといった動きを確認。

その後、水が出る消火器を使っての模擬消火の訓練も行い、担当した職員らは、落ち着いた様子で訓練に臨んでいました。

学びの場

3月22日、毎週金曜午後に訪問歯科医として悠清苑に来て頂いている阿蘇きずな歯科医院の我那覇生純先生が来苑され、『口腔のリハビリテーションについて』と題した苑内研修が行われました。研修では、口腔ケアとは「食べる」「話す」「息をする」「表情を作る」という5つの口の機能を良くする為の口腔のリハビリテーションのことであると話された他、食べこぼしやムセるといった口腔機能低下症についての説明も行われました。

また、物を食べるというプロセスを表す「レオポルドの摂食嚥下の5期モデル」に咀嚼を加え、口で噛みながら飲み込むというプロセスモデルの説明や、そのうちの1つ又は複数が正常に機能なくなることが『摂食機能障害』であることなどが話され、研修中には、出席した職員らが頷きながらメモを取る様子も見られていました。

研修の最後には、手でおでこを押すことで飲み込む力を鍛える「嚥下おでこ体操」や、悠清苑のデイサービスでも行われている、口を閉じる力・食べ物を送り込む力を鍛える「パタカラ体操」を出席者全員で行いました。



永年勤続者の紹介

悠清苑では、長年勤務された職員に対し、
永年勤続祝い金を贈呈しています。

※20年・30年・40年に永年勤続のお祝い金があります。

～10年勤続者～



山田 泰江
(従来型介護福祉士)
平成21年3月23日入職



佐藤 孝子
(地域密着型介護職員)
平成21年3月23日入職

医務室より

寒い冬が過ぎ、木々の芽吹きや咲く
花の美しさに癒される日々ですが、皆
様いかがお過ごしでしょうか。

悠清苑では入居者の皆様の健康状態を
日々観察し必要な対応をさせて頂いて
おりますが、加えて年に2回、健康診
断のための検査・診察を受けて頂き、
日常の観察の他に、定期的に検査を行
う事で一年間を通して健康管理を行っ
ています。

医療職だけでなく、施設の職員全体
で入居者皆様の健康を支えてまいりま
す。

入居者のお体の具合について変化が
ある場合は随時ご連絡差し上げており
ますが、お気づきの点、ご意見がござ
いましたら どうぞお申し出くださいま
せ。

～新人職員紹介～



岡田 知世
(介護福祉士)

笑顔で丁寧な介護に努めます。



穴井 夢佳
(介護職)

笑顔を大切にして頑張ります。
よろしくお祈いします。



北里 葉月
(介護職)

介護経験がなく、分からないこと
が沢山あるので、早く覚えられる
ように頑張りたいと思います。
よろしくお祈いします。

御寄附・寄贈等ありがとうございます(順不同)

- ✳ 永田英一様 ✳ 高野カツ子様 ✳ 梅木隆志様
- ✳ 梶原正利様 ✳ 中島盛雄様 ✳ 田中俊裕様
- ✳ やまびこ旅館様(タオル)
- ✳ 山みず木様(敷布団)

地域交流会あいがとうございました

- 善正寺婦人会様
- 善正寺婦人会様

ボランティア募集

特別養護老人ホーム悠清苑では、地域の方々との交流
を大切にしております。ご利用者の方々とのお話し相手・
踊り等の趣味の披露・お掃除や洗濯等の手伝い何でも結
構です。当施設に気軽に訪問して、ご利用者の方々とたく
さんの触れ合いの時間を持つて頂くボランティアを募集し
ています。お気軽にご連絡下さい。

担当 相談員 江藤まで

特別養護老人ホームの入所者が、平成27年年度の介
護保険改正から原則、要介護3～5の方に限定され
ました。要介護1～2の方は、特例以外での新規の
入所はできなくなりました。
※見学・お問い合わせはお気軽にどうぞ

広報紙やホームページにおける 顔写真掲載について

広報紙やホームページでは、苑での入居者様や御家族
の様子などを写真にて紹介させていただいております。
写真の掲載等に関して、都合が悪い等のご意見が
ございましたら、広報担当者までご連絡ください。

(連絡先)

広報担当 日野

特別養護老人ホーム悠清苑

☎(0967)44-0800